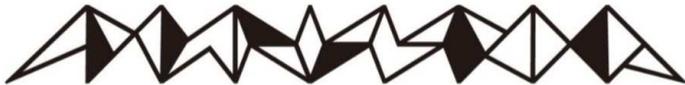


長野県観光の現状・課題


Go Nature. Go Nagano.

令和5年10月6日
長野県観光部



長野県PRキャラクター「アルクマ」
©長野県アルクマ

延べ宿泊者数の推移（全国及びTOP10都道府県と長野県との比較）

- 減少傾向であった延べ宿泊者数はコロナ禍により大きく減少したが、2022年からは回復傾向
- 長野県は毎全国TOP10前後をキープ

単位	2018年延べ 宿泊者数		2019年延べ 宿泊者数 (A)		2020年延べ 宿泊者数 (B)			2021年延べ 宿泊者数 (C)			2022年延べ 宿泊者数 (D)		
	人泊	順位	人泊	位	人泊	位	2019比 B/A %	人泊	位	2019比 C/A %	人泊	位	2019比 D/A %
全国	538,001,500	-	595,921,480	-	331,654,060	-	55.7%	317,773,850	-	53.3%	450,458,460	-	75.6%
東京都	66,109,060	1	78,981,720	1	37,763,210	1	47.8%	38,239,310	1	48.4%	59,036,970	1	74.7%
大阪府	39,897,970	2	47,427,510	2	19,717,020	3	41.6%	17,858,740	3	37.7%	30,522,480	2	64.4%
北海道	35,308,590	3	36,983,420	3	21,443,200	2	58.0%	19,060,010	2	51.5%	29,169,350	3	78.9%
千葉県	25,586,050	5	29,229,120	6	14,131,320	6	48.3%	14,084,870	6	48.2%	22,800,170	4	78.0%
神奈川県	23,021,940	6	23,883,890	7	15,129,650	4	63.3%	14,813,410	4	62.0%	22,090,800	5	92.5%
京都府	20,450,740	8	30,749,560	5	13,898,320	7	45.2%	11,919,630	7	38.8%	21,110,420	6	68.7%
静岡県	21,861,980	7	23,429,440	8	14,369,130	5	61.3%	14,263,080	5	60.9%	18,307,600	7	78.1%
沖縄県	26,790,920	4	32,865,670	4	13,790,150	8	42.0%	11,472,510	8	34.9%	18,232,940	8	55.5%
愛知県	17,009,840	10	19,337,740	10	11,068,000	10	57.2%	11,342,480	9	58.7%	15,811,550	9	81.8%
長野県	18,324,790	9	18,052,570	11	11,242,390	9	62.3%	10,841,820	10	60.1%	14,172,210	10	78.5%

※出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」

外国人延べ宿泊者数の推移（全国及びTOP10都道府県と長野県との比較）

- 増加傾向傾向にあった外国人延べ宿泊者数は、コロナ禍により大きく減少（2021年は、2019年比で△96%）
- 水際対策緩和が10月であったこともあり、2022年内の回復は限定的（全国的に同傾向）

単 位	2018年延べ 宿泊者数		2019年延べ 宿泊者数 (A)		2020年延べ 宿泊者数 (B)			2021年延べ 宿泊者数 (C)			2022年延べ 宿泊者数 (D)		
	人 泊	順位	人 泊	位	人 泊	位	2019比 B/A %	人 泊	位	2019比 C/A %	人 泊	位	2019比 D/A %
全国	94,275,240	-	115,656,350	-	20,345,180	-	17.6%	4,317,140	-	3.7%	16,502,920	-	14.3%
東京都	23,194,530	1	29,350,650	1	5,003,240	1	17.0%	1,536,490	1	5.2%	6,775,590	1	23.1%
大阪府	15,124,140	2	17,926,170	2	3,224,750	2	18.0%	319,380	3	1.8%	2,129,680	2	11.9%
京都府	6,267,750	4	12,025,050	3	1,708,410	4	14.2%	105,580	8	0.9%	1,413,310	3	11.8%
北海道	8,335,030	3	8,805,160	4	2,050,370	3	23.3%	66,130	11	0.8%	857,170	4	9.7%
千葉県	4,115,770	6	4,798,250	6	1,141,600	5	23.8%	597,650	2	12.5%	851,640	5	17.7%
福岡県	3,366,510	7	4,261,960	7	623,350	8	14.6%	104,290	9	2.4%	606,420	6	14.2%
沖縄県	6,201,270	5	7,750,760	5	1,065,410	6	13.7%	237,420	5	3.1%	582,900	7	7.5%
神奈川県	2,753,800	9	3,248,700	9	594,600	9	18.3%	244,400	4	7.5%	509,100	8	15.7%
愛知県	2,850,230	8	3,633,500	8	660,140	7	18.2%	108,370	7	3.0%	342,470	9	9.4%
長野県	1,527,160	12	1,577,570	13	526,750	10	33.4%	62,830	12	4.0%	179,910	10	11.4%

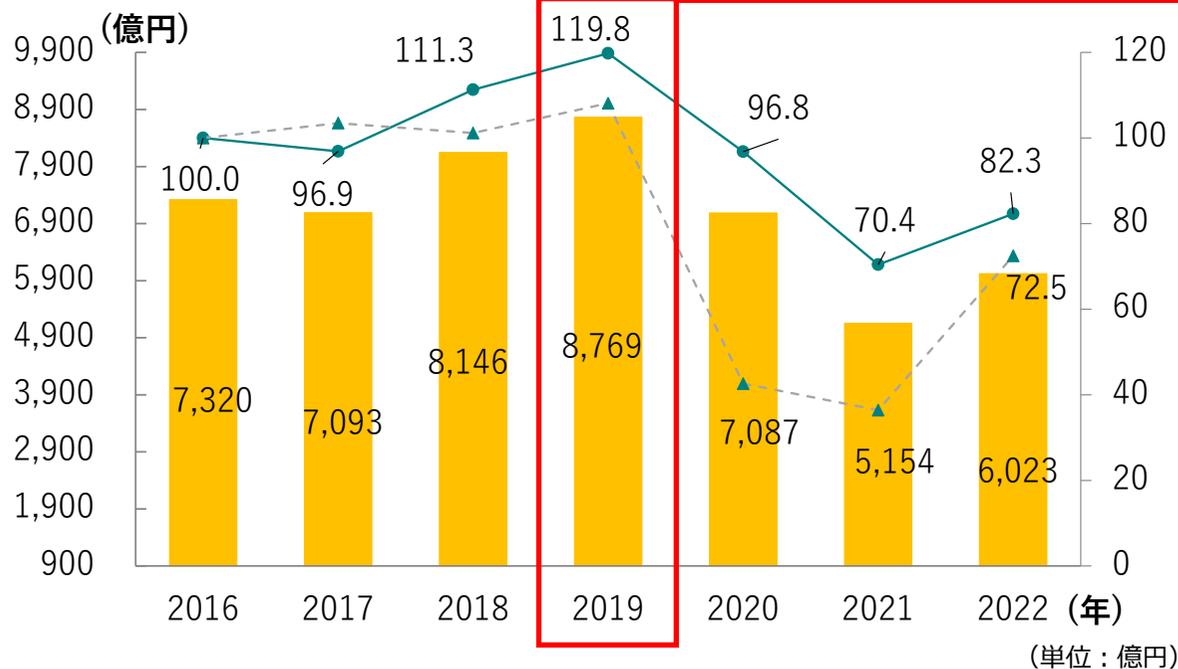
※出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」

長野県における観光消費の推移

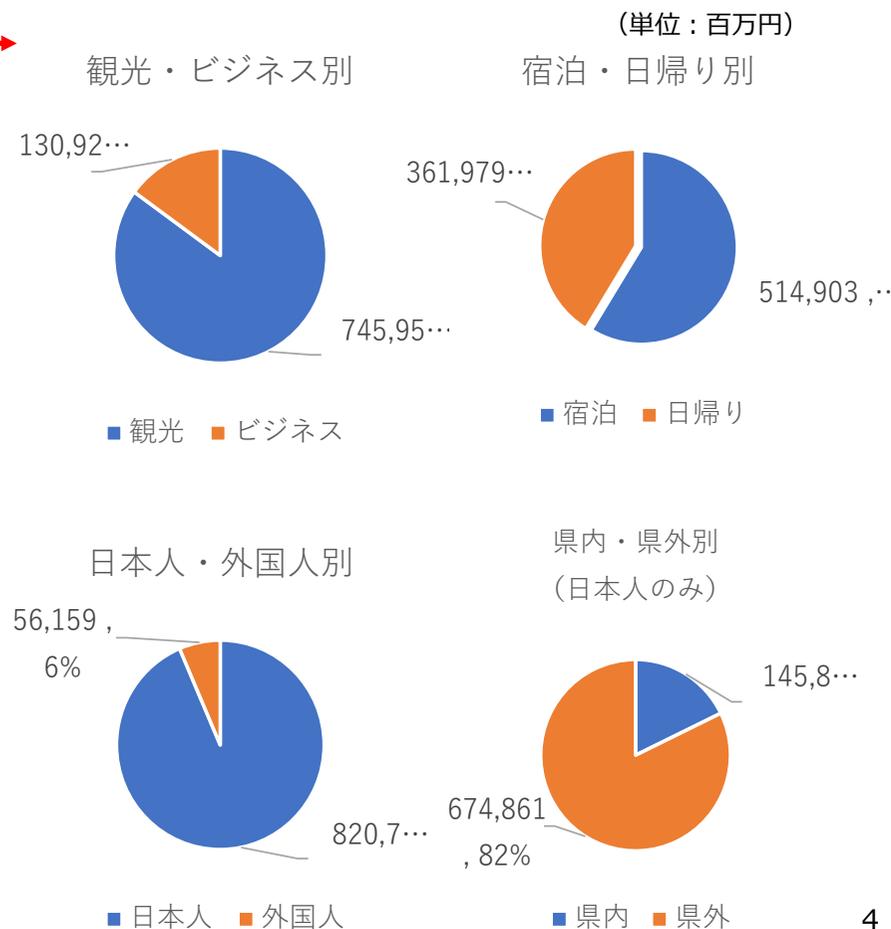
※出典：長野県観光入込客統計
観光庁「旅行・観光消費動向調査」

- 2019年まで順調に増加した観光消費額はコロナ禍で大きく減少（2022年は回復傾向）
- 全国の推移と傾向は同じだが、長野県は全国よりコロナによる落ち込みが少ない

※折れ線グラフは2016年を100とした際の割合（実線：長野県 点線：国全体）



観光消費額	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
全国	258,000	267,000	261,000	279,000	110,000	94,000	187,000
長野県	7,320	7,093	8,146	8,769	7,087	5,154	6,023

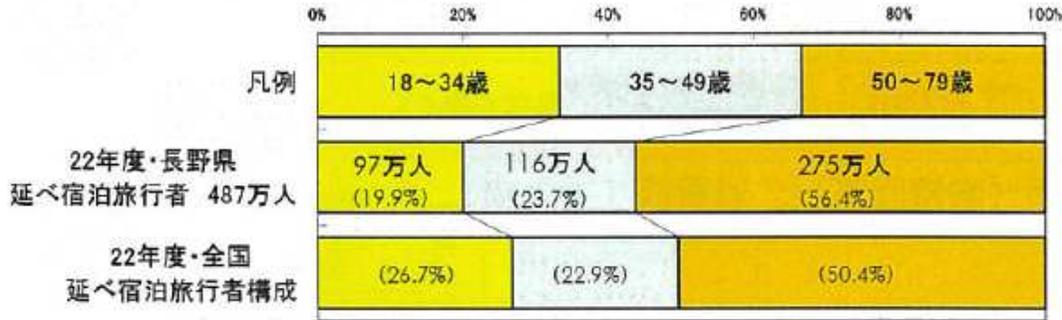


観光客の属性・トレンド①

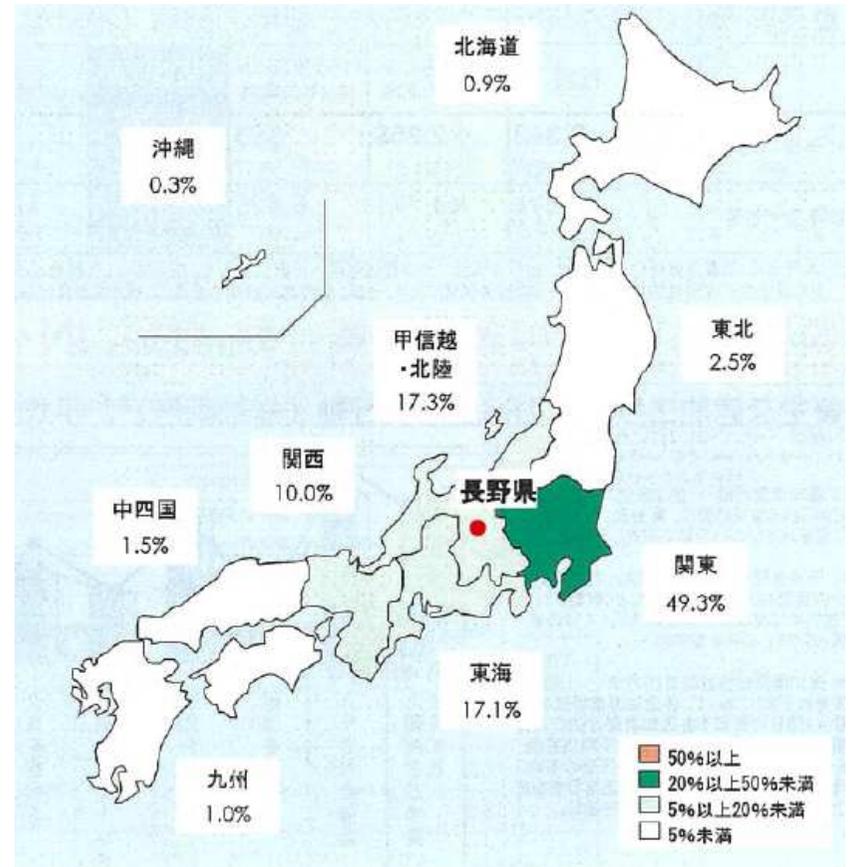
※出典：「じゃらん宿泊旅行調査2023」

- 長野県への来訪者は50歳以上が半数以上で、18～34歳の割合が全国と比して少ない
- 全国と比べ夫婦旅行が多い一方で一人旅は少ないほか、関東・甲信越・東海地域の順に来訪者が多い

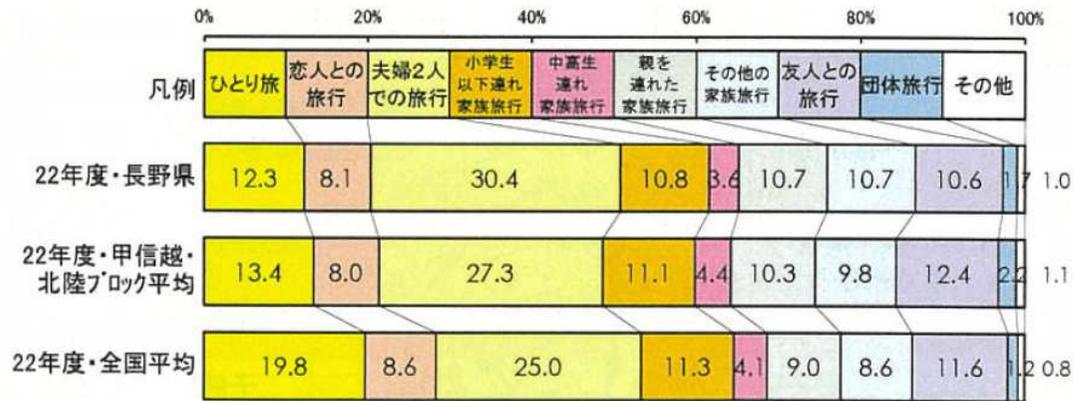
◆長野県への宿泊旅行者の年代



◆長野県への宿泊旅行者の居住地（ブロック別）



◆長野県への宿泊旅行の同行者

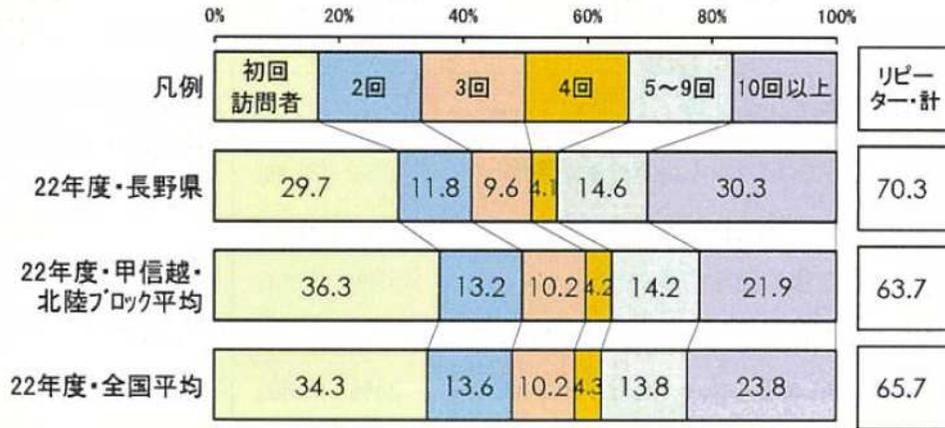


観光客の属性・トレンド②

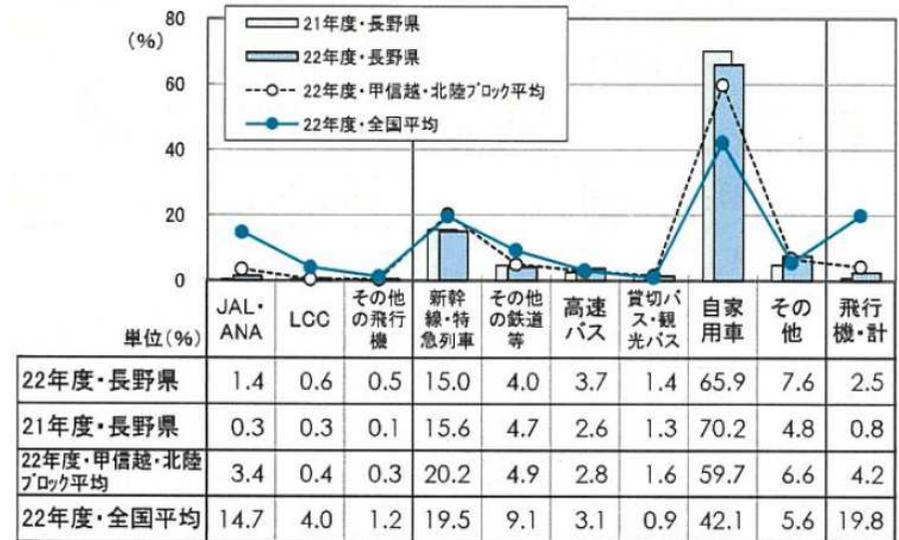
※出典：「じゃらん宿泊旅行調査2023」

- 全国と比べてリピーターの割合が多く、特に10回以上の来訪者が多く訪れる
- 逆に初回訪問者が全国と比べると少ない
- 利用交通機関は「自家用車」が圧倒的に多く、次点は「新幹線・特急列車」

◆長野県への来訪経験



◆目的地まで利用した主な交通手段



観光客の属性・トレンド③

◆旅行先を選んだ理由



※初回訪問者・リピーターそれぞれ、全国平均より5ポイント以上高い項目に網がけ

※出典：「じゃらん宿泊旅行調査2023」

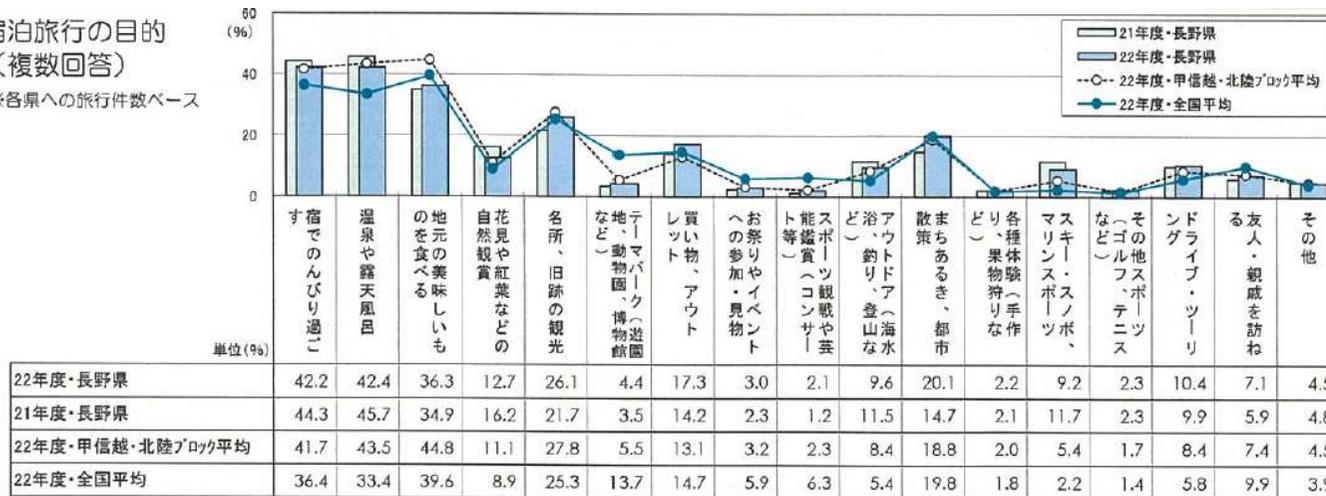
(旅行先を選んだ目的)

- 初回訪問者は、「スポット」「アクティビティ」「宿・ホテル」を動機に訪れる人が多く、情報接点は「知人のすすめ」が多い傾向
- リピーターは、「宿・ホテル」を目的とした旅行や、「なじみ」の観光地であることを理由として訪問する方が多い傾向
- 「温泉」は一見・リピーター共に人気

◆長野県への宿泊旅行の目的

宿泊旅行の目的
(複数回答)

※各県への旅行件数ベース



(長野県への宿泊旅行の目的)

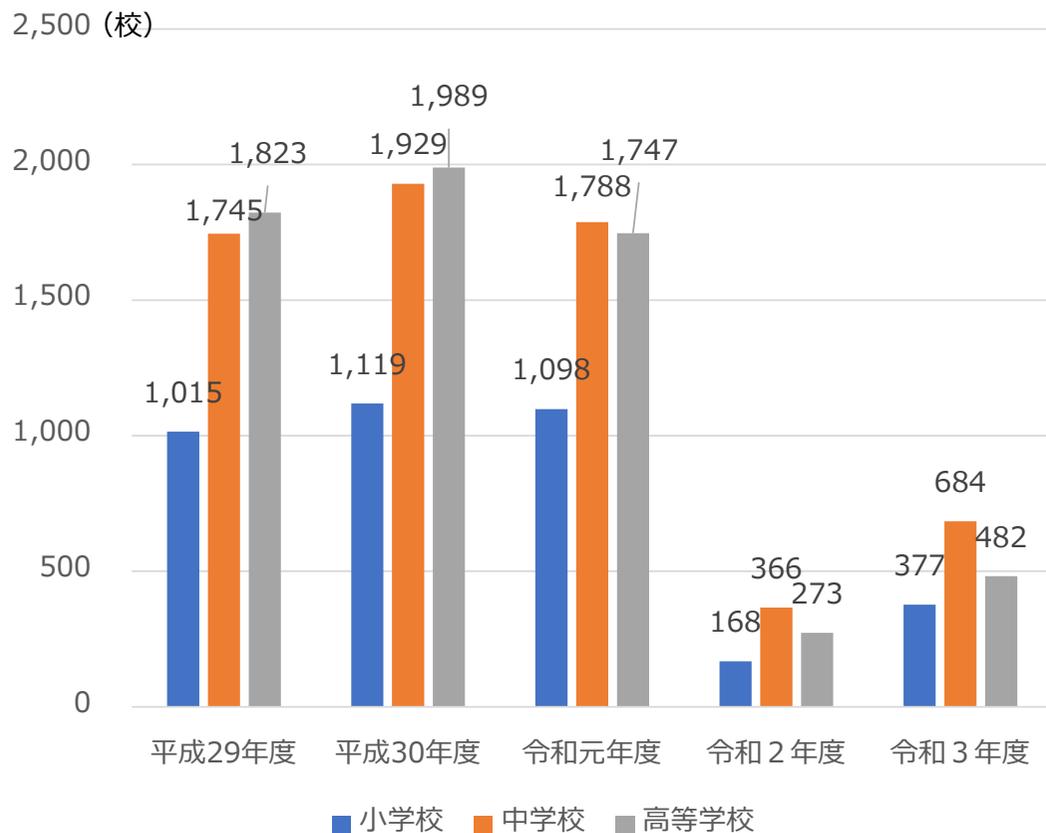
- 全国と比べて、「温泉や露天風呂」「自然鑑賞」「アウトドア」「スキー等」「ドライブ・ツーリング」などを目的とした宿泊旅行が多い傾向
- 一方、「地元の食べ物」「テーマパーク」「スポーツ観戦・芸能鑑賞」を目的とした旅行は、少ない傾向。

長野県への学習旅行の来訪学校数及び来訪生徒数

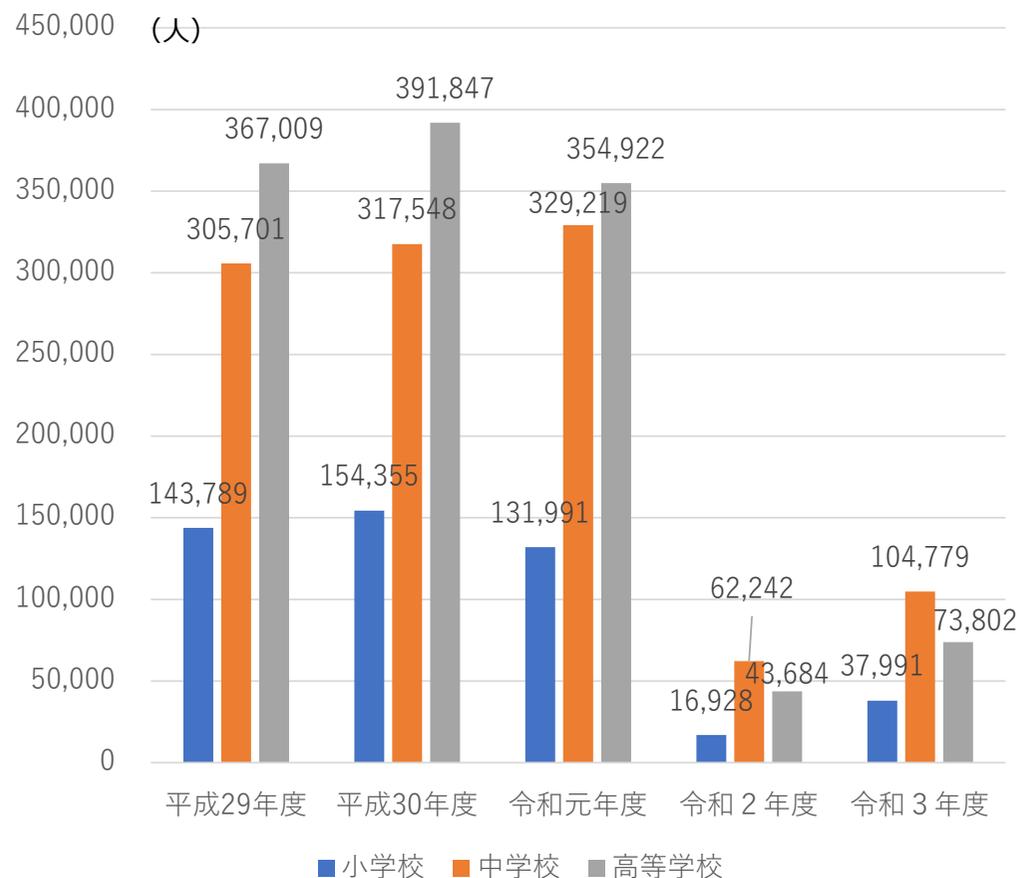
※出典：長野県「学習旅行実態調査」

- コロナの影響で、令和2年以降は学習旅行も大きく減少
- コロナ前は高校が校数・生徒数共に最も多かったが、コロナ禍では中学校が最も多くなっている

◆来訪学校数（直近5年間推移）



◆来訪生徒数（直近5年間推移）



長野県の観光コンテンツの特徴

※出典：長野県「R4意外と頑張ってます長野県」

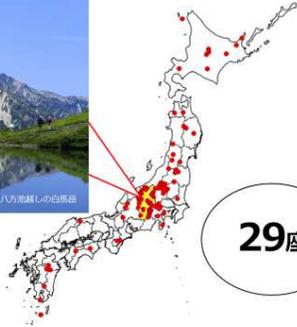
- ワイン・日本酒、山岳登山、スノーリゾート、温泉などは長野県内に豊富なコンテンツがあると考えられる
- また、博物館・美術館数も全国最多であり、文化観光などのポテンシャルも伺える

山容よし。展望よし。 日本百名山の数 日本一

(山岳高原観光課調べ)



八ヶ岳湖しの白鳥島



29座

登山家、文筆家の深田久弥氏の著書「日本百名山」(昭和39年刊行)を参考としています。
意外と頑張ってます長野県

本物を見に出かけよう 博物館・美術館の数 日本一

(文部科学省「平成30年度社会教育調査」)



(長野県立美術館)

長野県立美術館が令和3年4月にリニューアルオープンしました！ぜひお越しください。
意外と頑張ってます長野県

345館

信州ミュージアムガイド(長野県博物館協議会公式サイト)はこちら
<https://www.nagano-museum.com/>

信州ワインバレーから世界へ、NAGANO WINE 日本ワインコンクール2022 金賞・最高賞受賞数 日本一

(日本酒・ワイン振興課調べ(令和4年10月))



ワイナリー数
71か所
全国第2位

日本ワイン
コンクール2022
金賞 12点
全国第1位
部門最高賞 5点
全国第1位

信州全体でNAGANO WINEを応援していく
意味を込めたロゴを作成し県内産ワインの
魅力を国内外に広く発信しています。
意外と頑張ってます長野県



NAGANO WINEオフィシャルサイトはこちら
<https://www.nagano-wine.jp/>

銀嶺を駆け抜けよう スキー場の数 全国トップクラス

(山岳高原観光課調べ(令和3年))



77か所(※)
全国第2位

※令和2年〜令和3年シーズン調査が所。

長野県は北海道に次いで
スキー場が多いといわれています。
意外と頑張ってます長野県

温泉だって、気軽に楽しみたい 日帰り温泉施設の数 日本一

(福徳省「令和2年度温泉利用状況」)



温泉利用の公衆浴場数
742か所

山ノ内町の地獄谷野営公園では、
スノーモンキーと呼ばれるニホンザルが
温泉に入る姿が有名です。
意外と頑張ってます長野県

きれいな水とおいしいお米がつくる、信州日本酒 全国新酒鑑評会 金賞受賞数、 日本酒酒蔵の数 全国トップクラス

(日本酒・ワイン振興課調べ)



金賞 12銘柄
全国第4位
酒蔵数 78か所
全国第2位

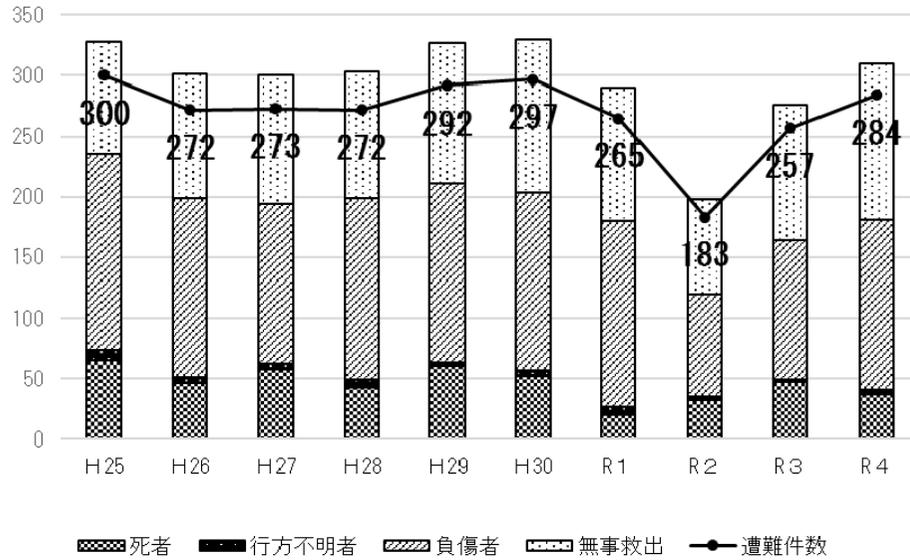
信州日本酒の振替と知名度の向上を図るため、
醸造技術の向上に取り組んでいます。
意外と頑張ってます長野県

毎月8日は「信州地酒で乾杯の日」です！詳細はこちら
<https://www.pref.nagano.lg.jp/jizake/kansai>

山岳遭難・自然公園の状況

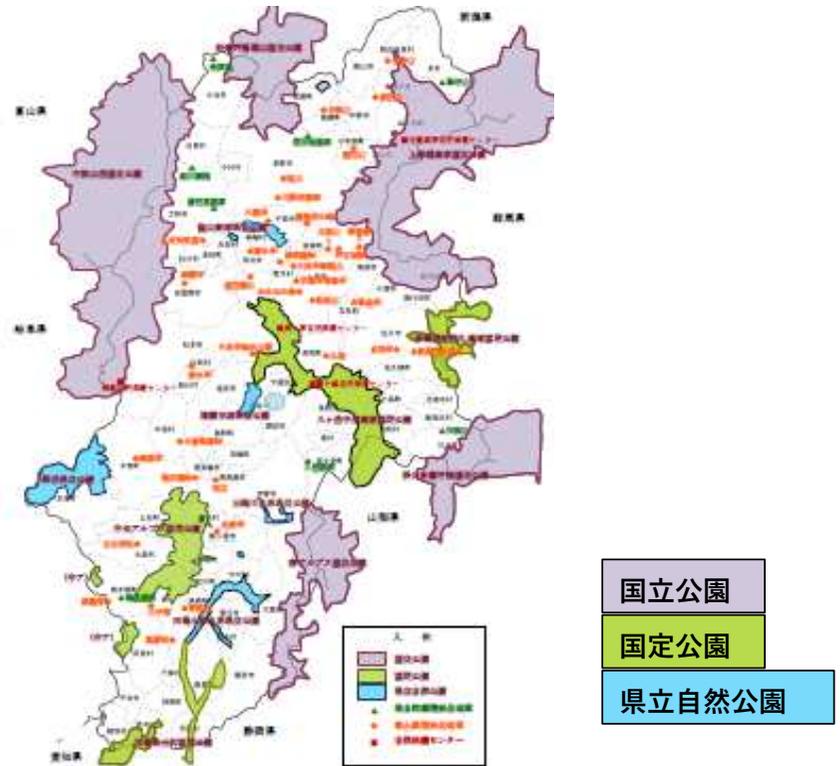
- 県土の1/5が自然公園に指定されている長野県において、山岳高原観光は重要なコンテンツの1つ
- その一方で毎年多くの山岳遭難が発生（遭難発生件数・遭難者数ともに全国最多）

◆山岳遭難発生状況等の推移 ※出典：R4山岳遭難統計（長野県警）



区分 年別	発生件数	遭難者数				計
		死者	行方不明者	負傷者	無事救出	
平成30年	297	52	5	146	127	330
令和元年	265	20	7	153	110	290
令和2年	183	32	3	85	78	198
令和3年	257	47	2	115	112	276
令和4年	284	37	4	140	129	310
前年対比	+27	-10	+2	+25	+17	+34

◆県内の自然公園指定状況 ※出典：県ホームページより



県土の約21%（27万9千ha）が自然公園に指定

⇒ **全国3番目の広さ**

宿泊施設の稼働率（全国及び延べ宿泊者数TOP10との比較）

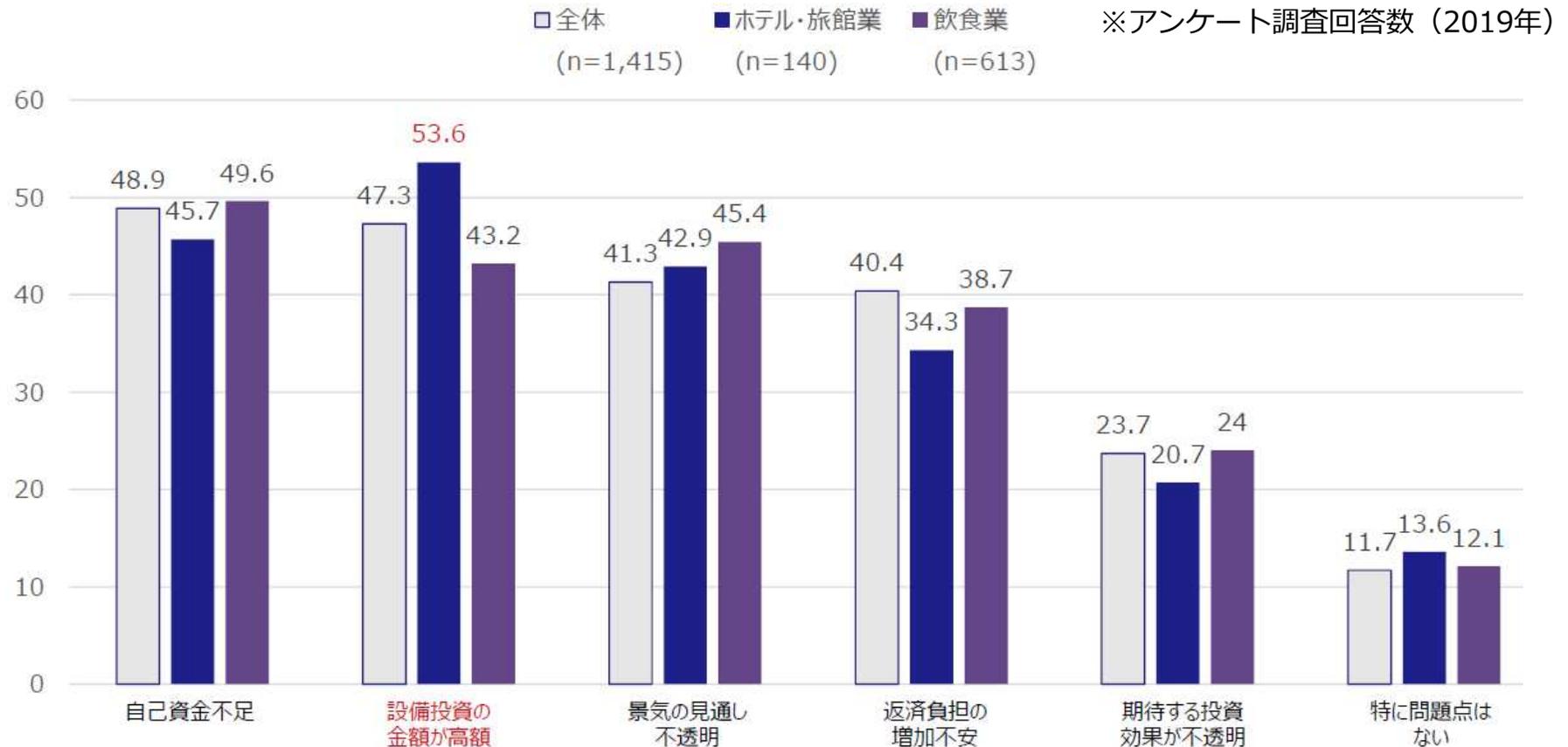
○コロナ禍であった2020年・2021年を除き、宿泊稼働率は全国最下位
（長野県は許認可ベースで宿泊施設が最も多い（R4：6,604施設））

※出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」

単 位	2018年	順位	2019年	順位	2020年	順位	2021年	順位	2022年	順位
	%	位	%	位	%	位	%	位	%	位
全国	61.2	-	62.7	-	34.3	-	34.3	-	46.6	-
東京都	80.0	1	79.5	1	33.6	36	36.0	24	52.8	5
大阪府	79.6	2	79.0	2	27.8	43	26.7	43	44.2	30
北海道	63.2	12	65.3	10	34.5	31	32.7	39	46.9	22
千葉県	68.6	5	70.6	4	36.5	17	36.5	21	52.7	6
神奈川県	65.6	7	70.4	5	42.8	3	41.9	7	50.8	10
京都府	64.7	9	66.3	9	27.6	44	24.4	47	41.1	39
静岡県	57.0	24	59.1	17	38.0	15	36.6	20	45.2	28
沖縄県	63.7	10	64.7	11	30.2	41	25.2	45	42.2	38
愛知県	70.1	4	68.8	8	36.8	16	38.2	15	49.6	13
長野県	37.1	47	39.2	47	24.2	46	24.5	46	34.0	47

宿泊施設における設備投資をする上での問題点（全国）

- 設備投資の金額が高額であることを課題と感じている宿泊事業者は他産業と比しても多い
- 産業全体における設備投資の課題として最多は「自己資金不足」

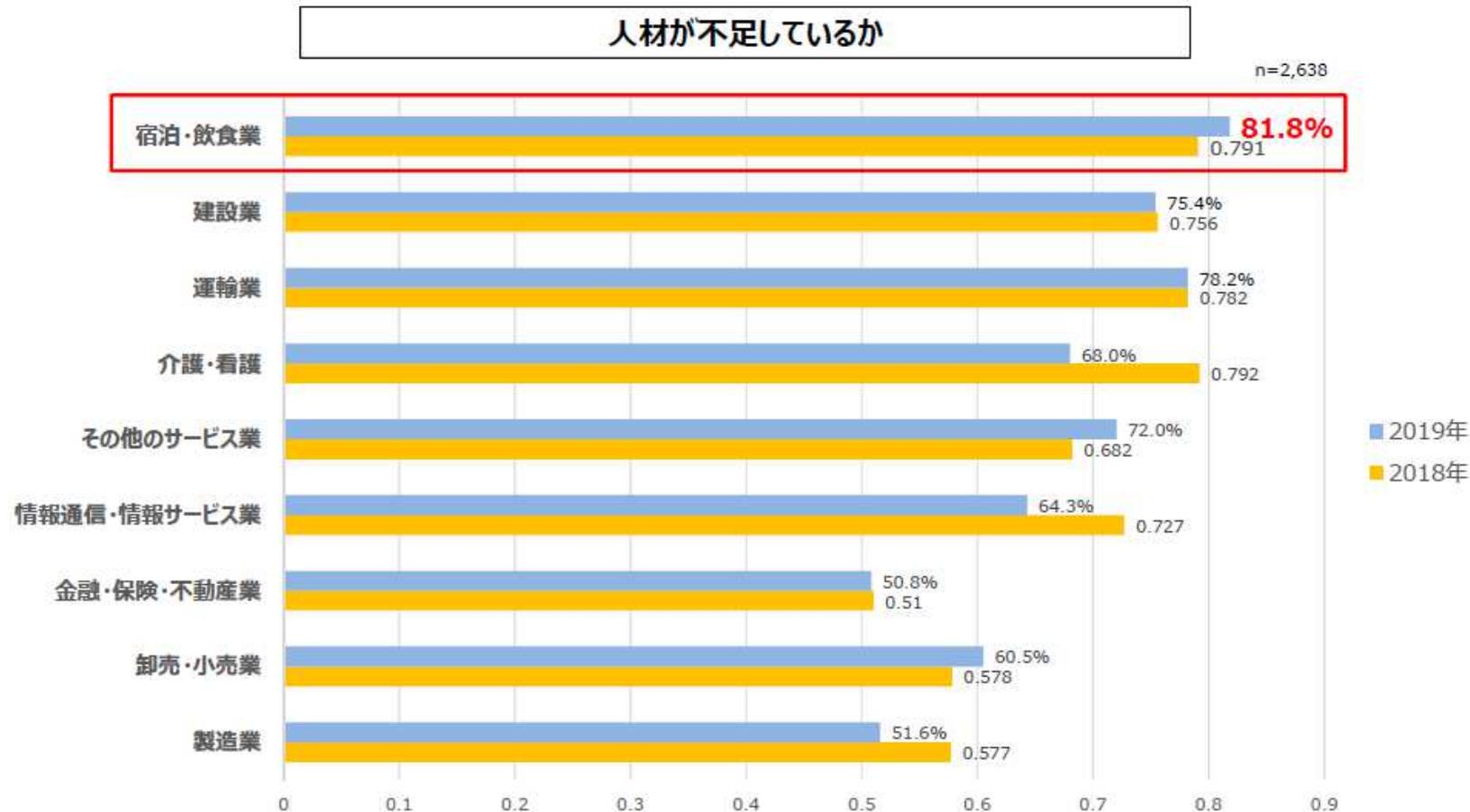


※観光庁「アフターコロナ時代における地域活性化と観光産業に関する検討会議資料」より

（出典：日本政策金融公庫「生活衛生関係営業の景気動向等調査特別調査結果2019年1月～3月期設備投資に関するアンケート調査結果」

宿泊業における人手不足（全国）

- コロナ以前から、宿泊・飲食業の人手不足は顕著
- アフターコロナへ移行する中で急激に観光需要が戻ることに伴い、人手不足の更なる深刻化が懸念される

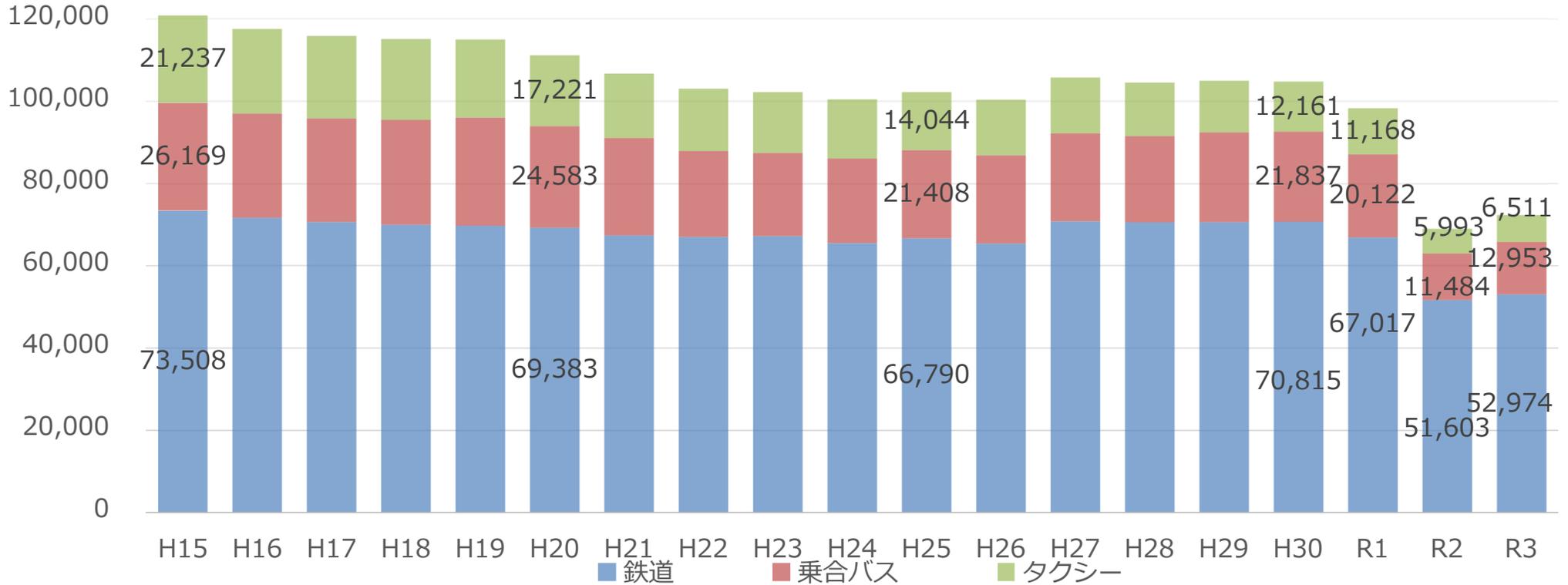


※観光庁「アフターコロナ時代における地域活性化と観光産業に関する検討会議資料」より
(出典：日本商工会議所令和元年「人手不足等の対応に関する調査」(2019年6月))

公共交通の利用者推移

- 近年、公共交通の利用者は全国・長野県ともに減少傾向が続いている
- コロナ禍を受け、利用者減少はさらに加速し、事業者の経営はひっ迫した状況にある

140,000 (千人)

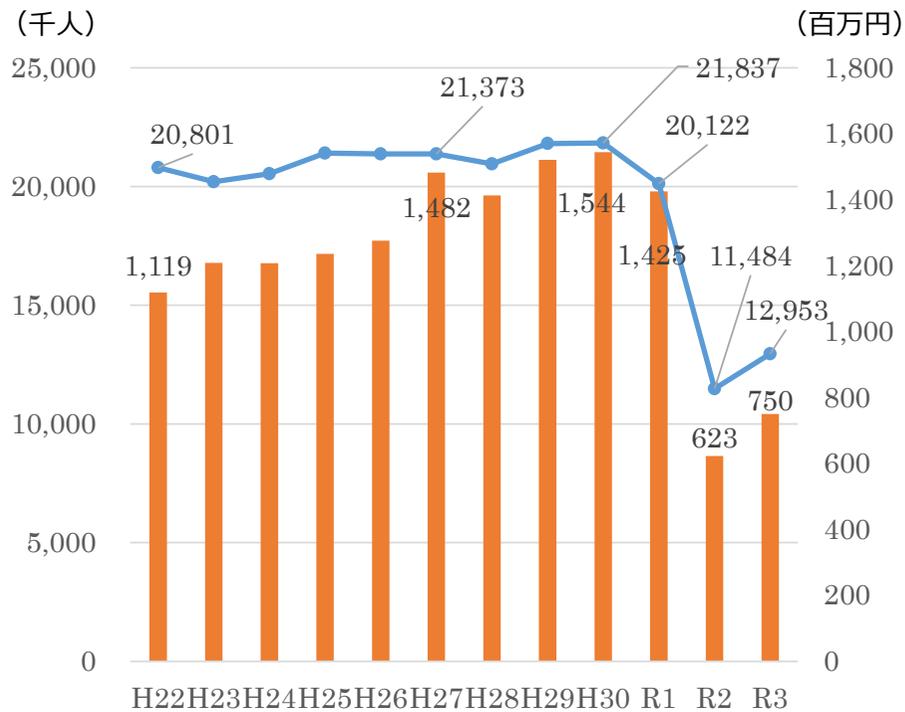


※出典：ながの県勢要覧、運輸要覧（北陸信越運輸局）より長野県交通政策課作成

バス事業の営業収入・輸送人員推移

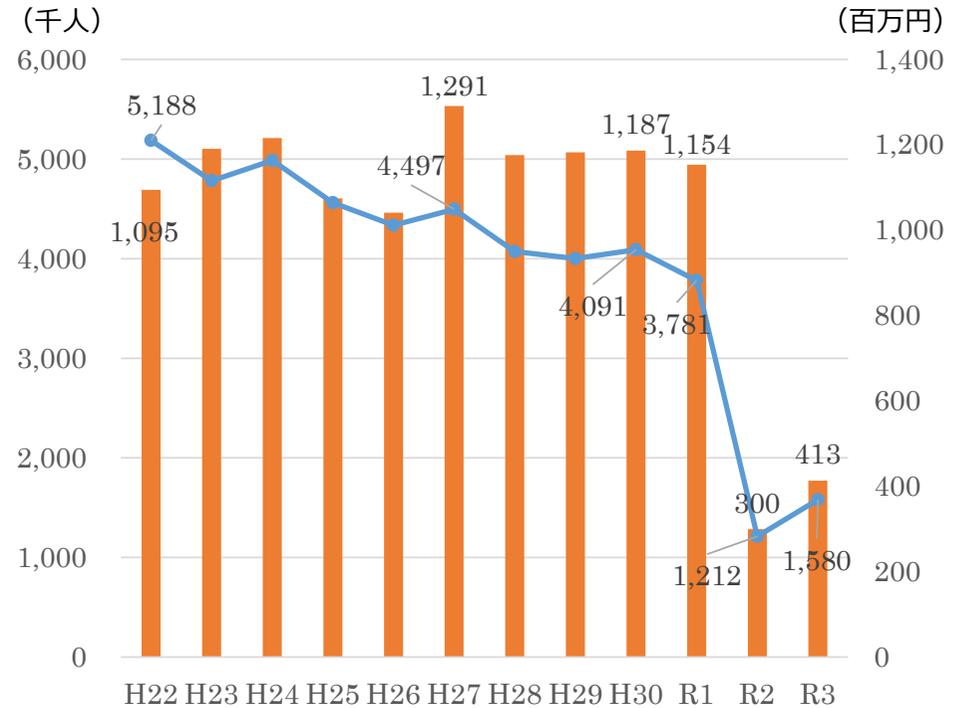
- 鉄道事業と同様に、コロナ禍でバス事業も輸送人員・営業収益ともに減少
- また、高速バス・路線バスが減便・運休するなど、県民の生活にも影響あり

◆県内乗合バス事業



■ 営業収入 (百万円) ● 輸送人員 (千人)

◆県内貸切バス事業



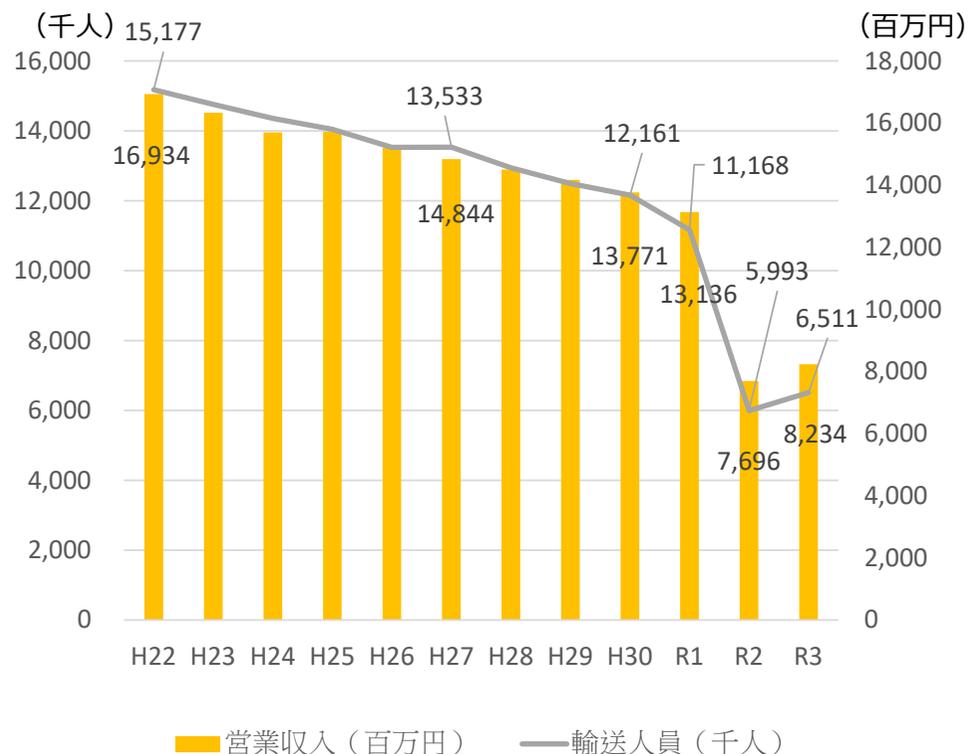
■ 営業収入 (百万円) ● 輸送人員 (千人)

※出典：長野県企画振興部総合政策課統計室「ながの県勢要覧」より長野県交通政策課作成

タクシー事業の現状

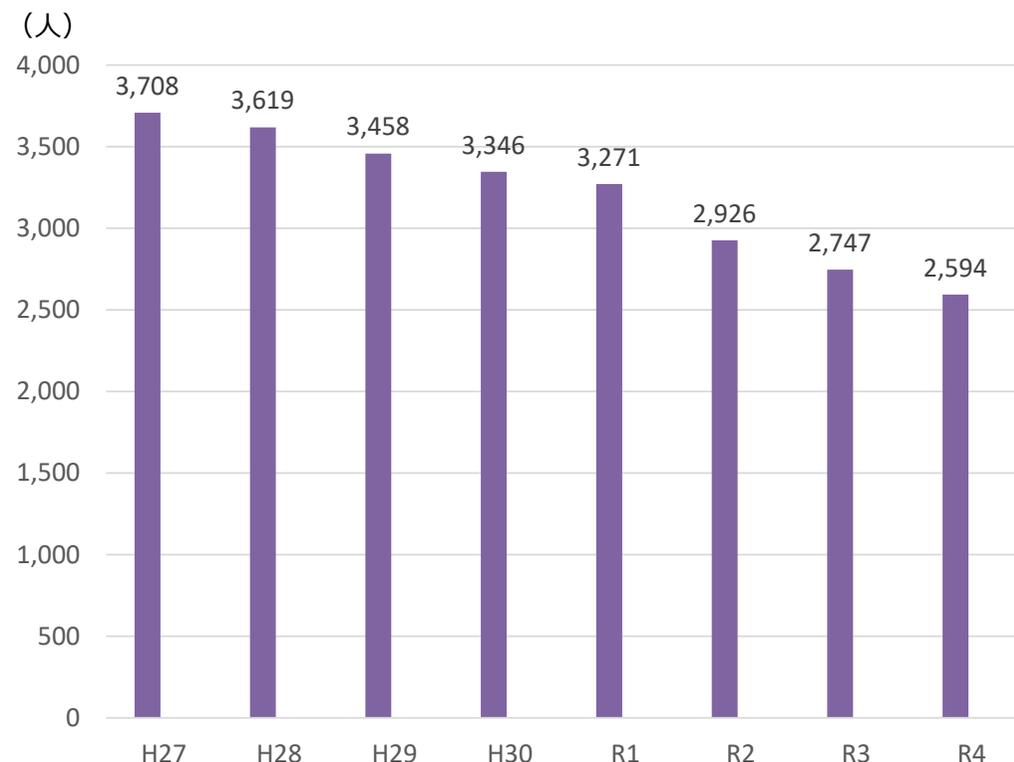
- 営業収入・輸送人員は年々減少傾向にあったが、コロナ禍で加速
- 運転手数はH27年度からR3年度の8年間で3割減少するなど、運転手不足が深刻な課題

◆県内タクシー事業の営業収入・輸送人員推移



※出典：長野県企画振興部総合政策課統計室「ながの県勢要覧」より長野県交通政策課作成

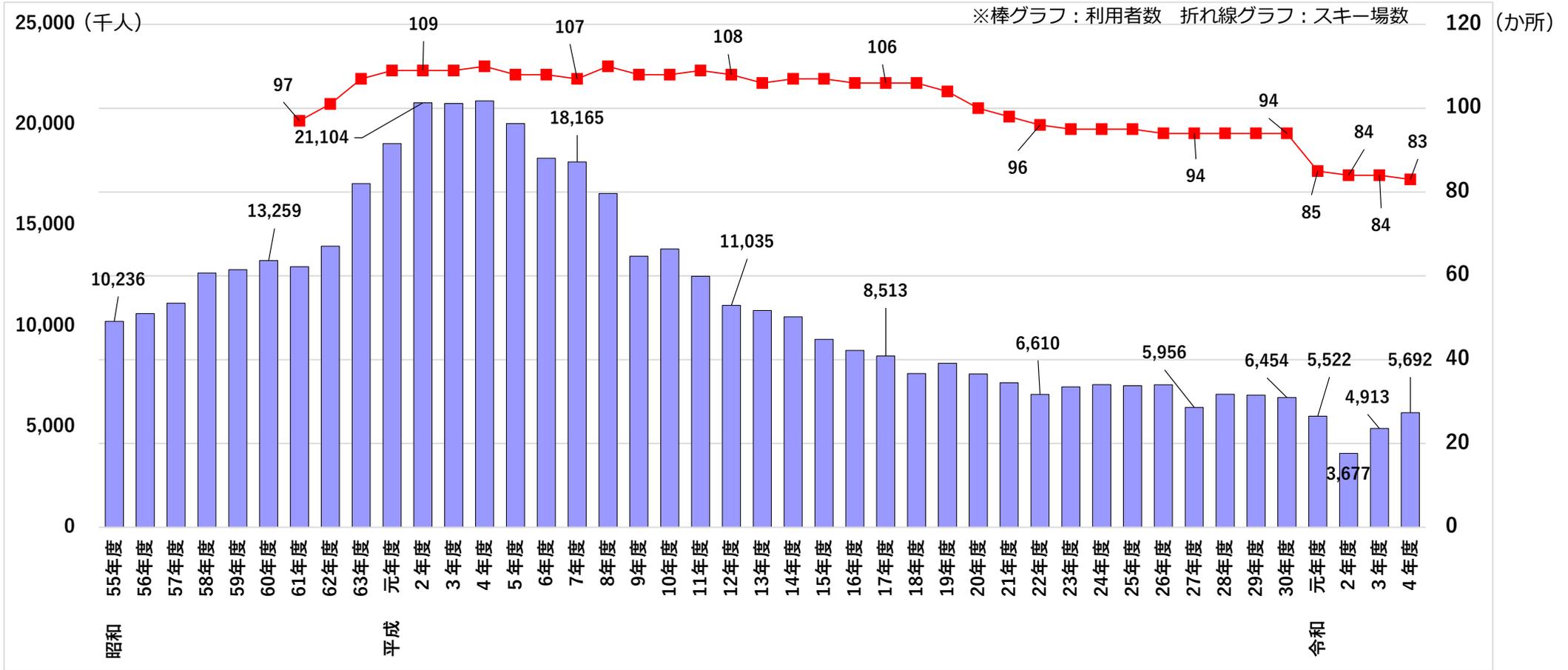
◆県内タクシー事業における運転手数の推移



※出典：長野県タクシー協会提供資料より交通政策課作成

県内スキー場の利用者数及びスキー場数の推移

- 県内スキー場の延べ利用者数は平成4年度をピークに減少方が続いている
- スキー場数は、平成4年度・平成8年度の110か所をピークに徐々に減少

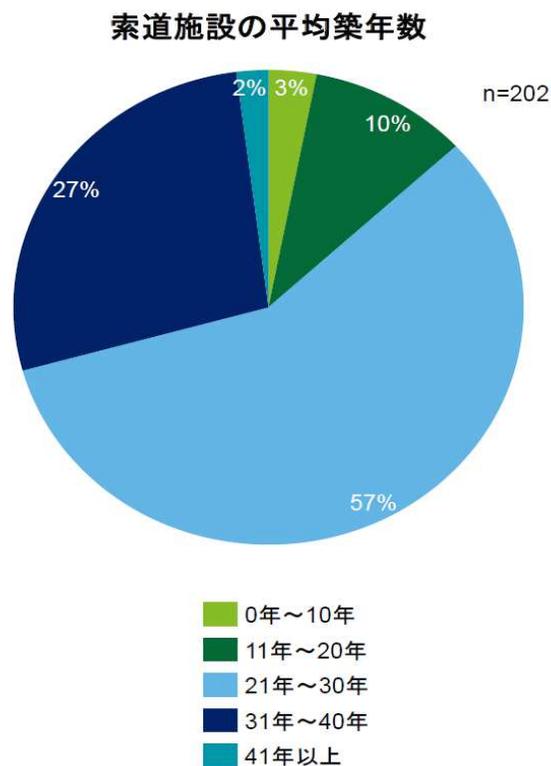


※出典：長野県「スキー・スケート場利用者統計調査」「スキー場等現況調査」、スポーツ庁「体育・スポーツ施設現況調査」

索道施設の状況

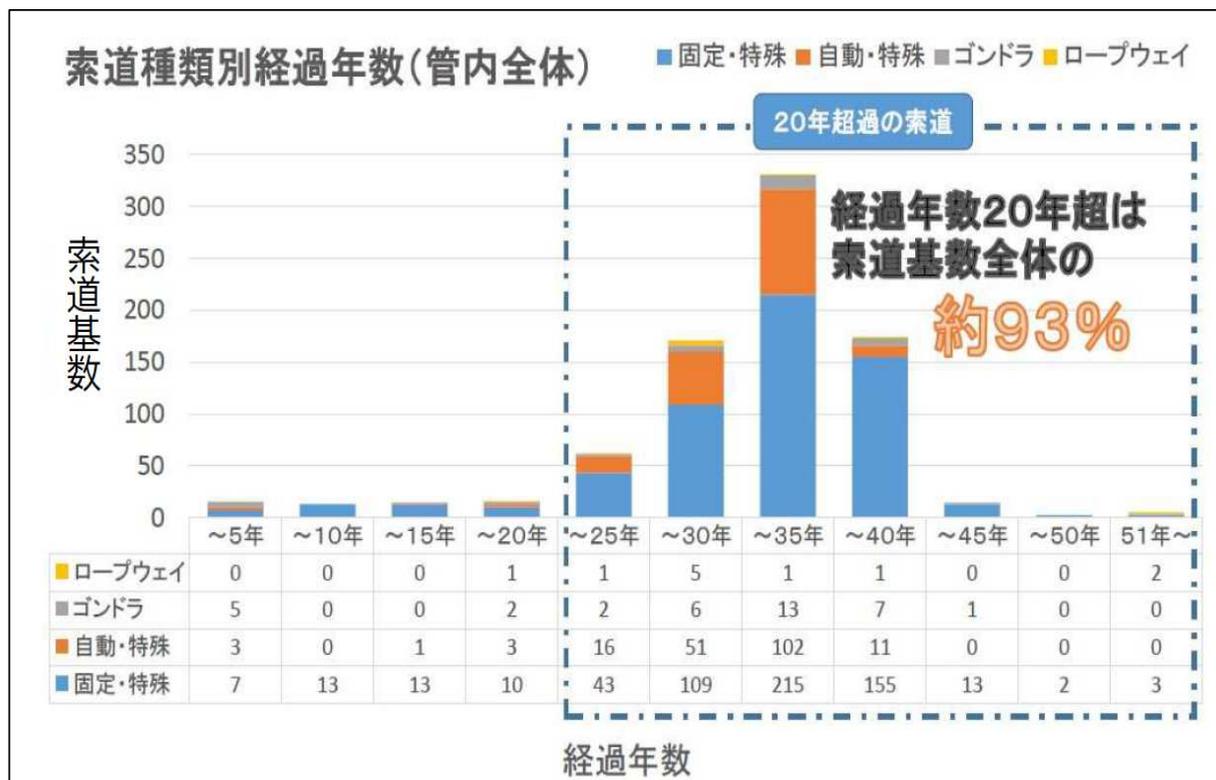
- 索道施設は、近年、新設・更新がほとんどなく、全国的に老朽化が進行している
- 安全運行のための維持管理費用負担や海外と比して更新費用が高いことなどが要因と考えられる

◆索道施設の平均築年数



※出典：観光庁「スキーリゾートの投資環境整備に関する検討会」報告書（2023年2月時点）

◆索道種類別経過年数（管内全体）



※出典：長野県索道事業者協議会提供資料